

# 参考

## 地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000） 交付決定事業一覧（4月8日受付分）

（単位：千円）

団体名		事業名	交付予定額	融資予定額	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性
1	埼玉県 行田市	国指定特別史跡「埼玉古墳群」を拠点とした地域経済活性化事業	20,000  (国費 10,000 地方費 10,000)	20,000	・埼玉懸信用金庫 ・(株)武蔵野銀行	・観光客の来訪と経済活動の結びつきが不十分 ・市の主要観施設である埼玉古墳群エリアには、飲食店や土産店等が極めて少なく、観光案内機能も不十分	来訪と経済活動の結びつきが弱いという地域課題を解決するため、さきたま古墳公園内に地場産品販売や軽食販売、観光案内、休憩の機能を兼ね備えた観光物産館「(仮称)さきたま市場」を整備する。当施設の整備により、施設単体のみならず地域全体の賑わい創出、市内事業者の販路拡大や地場産品のブランディング等の効果も期待される。	(一社)行田おもてなし観光局が主体となり行う軽食販売で、市内農家等から原材料を調達し、市内企業を通じて製造した商品販売することで、地域調達率や地域関与率を高め地域経済循環を創造していく点、地場産品販売について市内・市外で手数料率を区別することで、市内商品中心の地域性が高い施設となる点が、モデル性が高いと考えられる。
2	奈良県 王寺町	オリーブ産業の創出による地域活性化事業	5,200  (国費 2,600 地方費 2,600)	5,200	奈良中央信用金庫	・住宅地が多く、第1次産業がほとんどない。(第3次産業が全体の90%)	オリーブを王寺町の特産品と位置付け、オリーブオイル等の製造・販売を行う。さらに、町全体のオリーブ産業を盛り立て、オリーブを活用した地域活性化及び観光事業の推進を行う。	オリーブの栽培を行う場所が造成地の法面であることから、造成地法面の有効活用として全国的に珍しい取り組みである。耕作地の無い地域での一次産業の創出モデルになると思われる。